

平成19年8月2日

(社)日本自動車部品工業会

チャイルドシートの出荷量動向（平成18年）

(社)日本自動車部品工業会では、毎年、チャイルドシートの国内出荷台数の調査を実施し、公表している。本年の調査は、会員企業のチャイルドシートメーカー（一部輸入品を含む）10社を対象に実施し、平成18年(2006年)1月から12月までのメーカー出荷台数を、カテゴリー別に集計した。

1. 総出荷量

総出荷量は、約108.7万台で、前年比で見ると、およそ94%と微減状態である。着用義務化が始まった平成12年をピークに、その後は激減し、平成13年以降は120万台前後で推移しており、出荷量は横ばいから減少気味に移行している。

2. カテゴリー別出荷量

「乳児用」が約3.0万台(前年比95%)、「乳児・幼児兼用」が約48万台(同99%)、「幼児・学童兼用タイプ」約12.9万台(同96%)、「学童用」が約42万台(同94%)でそれぞれ微減している。

また、「幼児用」専用タイプが約0.23万台から2.3万台へと増加しているが、新規加入会社の台数が新たにカウントされたことによる影響が大きい。

3. 型式数

型式数は79型式と増加傾向にある。

添付資料

資料1 チャイルドシート年間出荷量表

資料2 チャイルドシート年間出荷量グラフ

資料3 チャイルドシートメーカー連絡先一覧(平成19年4月現在)

資料4 (社)日本自動車部品工業会のチャイルドシートに係る啓発活動について

チャイルドシート年間出荷量

資料 1

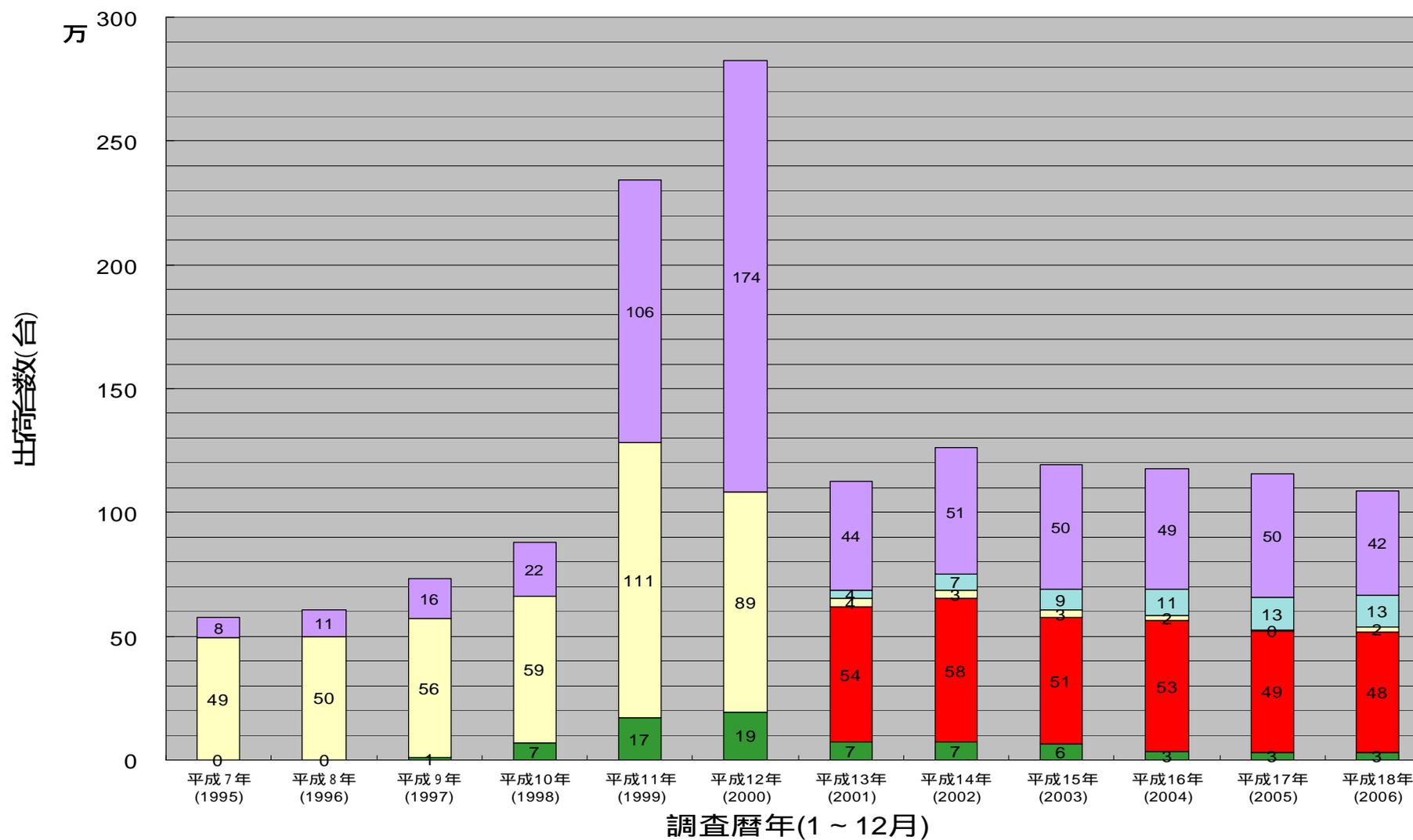
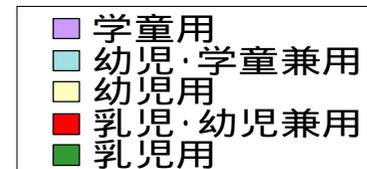
単位：台

調査暦年 (1～12月)	乳児用		乳児・幼児兼用		幼児用		幼児・学童兼用		学童用		総合計	総台数 前年比	型式数 2	社 数	出生数 (人) 3	
	台数 1	前年 比	台数	前年 比	台数 1	前年 比	台数	前年 比	台数	前年 比	総台数					
平成7年(1995)	0				493,477				79,993		573,470		-	8	1,187,064	
平成8年(1996)	0				498,645	101%			105,060	131%	603,705	105%	-	8	1,206,555	
平成9年(1997)	10,000				560,020	112%			161,432	154%	731,452	121%	-	9	1,191,665	
平成10年(1998)	68,931	689%			590,452	105%			220,298	136%	879,681	120%	56	9	1,203,147	
平成11年(1999)	171,987	250%			1,109,960	188%			1,061,139	482%	2,343,086	266%	78	11	1,177,669	
平成12年(2000)	192,504	112%			890,051	80%			1,744,470	164%	2,827,025	121%	113	11	1,190,547	
平成13年 (2001)	総数	72,282	38%	544,717		41,694	5%	35,472		437,713	25%	1,131,878	40%	110	12	1,170,662
	4型式指定	69,788		543,683		39,742		35,472		350,010		1,038,695				
平成14年 (2002)	総数	73,108	101%	580,521	107%	30,595	73%	65,391	184%	512,072	117%	1,261,687	111%	128	10	1,153,855
	4型式指定	71,591		580,521		27,485		65,391		422,539		1,167,527				
平成15年 (2003)	総数	64,136	89%	513,165	94%	25,855	62%	86,984	245%	501,784	115%	1,191,924	94%	55	10	1,123,610
	4型式指定	61,916		513,165		21,727		86,984		405,835		1,089,627				
平成16年 (2004)	総数	34,013	53%	527,102	103%	21,346	83%	107,838	124%	486,248	97%	1,176,547	99%	54	9	1,110,721
	4型式指定	32,060		527,102		17,547		107,838		420,437		1,104,984				
平成17年 (2005)	総数	31,652	93%	489,460	93%	2,367	11%	134,308	125%	497,913	102%	1,155,700	98%	66	9	1,062,530
	4型式指定	28,887		489,460		95		133,408		465,155		1,117,005				
平成18年 (2006)	総数	30,180	95%	484,841	99%	22,828	964%	128,949	96%	419,857	84%	1,086,655	94%	79	10	1,092,662
	4型式指定	26,325		477,358		28		127,396		397,453		1,028,560				

備考:

- 平成12年までの乳児用台数には、ベッドタイプの乳児・幼児兼用タイプ並びに後ろ向き取付けタイプの乳児・幼児兼用を含む。同じく、平成12年までの幼児用台数には幼児・学童兼用タイプを含む。
- 国土交通省型式指定品以外の輸入品の型式も含む。(平成10年以前は未調査)
- 厚生労働省 人口動態調査より。
- 総数の内、国土交通省の型式指定を受けているものの台数。(総数には輸入品、または国内メーカーECE認証取得品も含まれる。)

チャイルドシート出荷量



チャイルドシートメーカー連絡先一覧 ((社) 日本自動車部品工業会会員、平成19年4月現在)

アップリカ葛西株式会社 営業部 〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内1-13-13	06-6245-2571
ヴィブレ株式会社 〒527-0066 岐阜県大垣市鶴見町藤沢144-4	0584-75-0078
コンビ株式会社 コンシューマープラザ 〒330-0025 埼玉県さいたま市岩槻区鉤上新田271	048-797-1000
株式会社 カーメイト エールベベカンパニー 〒171-0051 東京都豊島区长崎5-33-11	03-5926-1221
タカタ株式会社 チャイルドシート部門お客様相談室 〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-31 アレスビル3F	0120-70-5441
ミクニ株式会社 ライトテック事業部 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-13-11	03-3833-2814
リーマン株式会社 お客様相談室 〒496-0911 愛知県愛西市西保町南河原68-1	0567-27-0173
レカロ株式会社 チャイルドシート事業部 〒527-0066 滋賀県東近江市柴原南町1570-1	0748-24-0635
株式会社 日本育児 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場3-11-24 東京都市開発ビル5F	06-6251-7420
(平成14年まで製造) 芦森工業株式会社 東京自動車安全部品営業部 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-16 柳屋太洋ビル	03-3246-7308
(平成18年まで製造) 株式会社 東海理化 第2営業部 第3営業室 〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田3-260	0587-95-0041

(社)日本自動車部品工業会のチャイルドシートに係る啓発活動について

(社)日本自動車部品工業会では、チャイルドシートの着用率向上と適正な使用方法等の啓発活動を行う。

これまでの啓発活動について

交通安全フェア等への参加協力

内閣府主催の「交通安全フェア」に平成3年よりレストレイント部会(チャイルドシート、シートベルト、エアバッグメーカーで構成)が中心となって、参加出展を行っている。出展は各区分毎のチャイルドシートの展示、チャイルドシートの必要性や適正な着用方法を訴えかけるパネルの展示と共に、チャイルドシート取付け体験コーナーを設けて、取付け指導を行ってきた。

また各自治体の要請により、自治体が主催する交通安全イベントへの参加や展示チャイルドシートの提供等を行っている。

取り付け指導講習の実施及び協力

チャイルドシート着用法制化元年である平成12年に、一般ユーザーがチャイルドシートの適正な着用を行っているかどうかのチェックと適正な着用方法の指導を行う目的で、国営昭和記念公園駐車場において、レストレイント部会が中心となって取付け指導イベントを実施した。

平成13年以降平成16年までチャイルドシート関連業界で構成する「チャイルドシート連絡協議会」が実施した、同様の取り付け指導イベントに、当工業会も全面的に協力した。

チャイルドシート連絡協議会が解散した平成16年度以降は、交通安全教育普及協会が主催する「チャイルドシート取付指導員養成研修会」に協力し、講師を派遣してきている。
チャイルドシート安全装着ガイドの作成・配布

チャイルドシートの適正な装着を啓発するためのパンフレットとして、「チャイルドシート安全装着ガイド」を作成し、交通安全フェア等のイベントでの配布や販売店等に配布している。

チャイルドシート関連会員会社への働きかけ

チャイルドシート関連会員会社が個別に行う啓発活動等への情報・資料提供等を行っている。

今後の啓発活動について

最新(平成19年)の警察庁・JAF調査による「チャイルドシート使用状況全国調査」によると、チャイルドシートの使用率は、46.9%と前年比-2.5ポイント低下したことに加え、適正な取り付け割合が25.1%と低水準である。また、当工業会のチャイルドシート出荷量調査では、乳児用チャイルドシートの出荷数量は、新生児の数に比べて約半分である。

平成19年6月に道路交通法が改正され、後部座席でのシートベルト着用が義務付けとなった(公布から1年以内に施行。)。これまで「大人はシートベルト、子供はチャイルドシート」着用推進の啓発活動が行われてきたが、道路交通法改正により、自動車乗員全てがシートベルト又はチャイルドシートを着用することが義務となり、より一層の着用推進と適正な装着への広報・啓発活動が必要である。

これらの現状に鑑み、警察庁から当工業会に対して、チャイルドシートの使用促進と正しい使用に向けた啓発に一層取り組むよう要請があり、関係会員にその趣旨を伝えて協力を依頼したところである。当工業会としては今後も上記の ~ を行い、官庁、自動車関連団体とも連携して、引き続きチャイルドシート着用の重要性と正しい着用方法等について、啓発活動を行なっていく予定である。